

令和7年度 高倉中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。
加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年 4月17日	学校	147	59	53	4.9	6.8
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2
	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6

	平均IRTスコア	
	理科	
学校	508	
大阪市	489	
全国	503	

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会	数学	理科※	英語	国語	社会	数学	理科※	英語
3 年 9月2日	学校	149	68.5	55.4	59.4	49.0	57.8	4.9	5.2	9.6	7.8	5.2
	大阪市	—	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大阪府	—	64.2	51.2	53.9	48.1	53.2	6.8	6.5	12.1	10.0	7.4

※ 3年生の理科はA問題を選択

令和7年度 高倉中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

■全国学力・学習状況調査

＜国語＞

全体の平均正答率は、全国平均と比較して4.7ポイント上回った。

領域別では、全国平均と比較して「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」すべての領域で上回った。特に「書くこと」の領域では、全国平均よりも6.8ポイントも上回り、成果が大きく現れた結果となった。

＜数学＞

全体の平均正答率は、全国平均と比較して4.7ポイント上回った。

領域別では、全国平均と比較して「数と式」「図形」「関数」の領域で上回った。

特に「図形」「関数」の領域では、全国平均よりもそれぞれ6.6ポイント、11.0ポイントも上回り、成果が大きく現れた結果となった。しかし「データの活用」の領域では、全国平均を下回った。昨年度も同様の結果だったこともあり、この領域が課題である。

＜理科＞

全国と比較して、IRTスコアは5ポイント上回った。また、IRTバンド1,2の割合が全国より少なく、バンド3,4の割合が全国より大きい結果となった。

■中学生チャレンジテスト(3年生)

＜国語＞

全体の平均正答率は府平均を4.3ポイント上回った。

領域別では、大阪府と比較して「読むこと」、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」すべてで上回った。

＜社会＞

全体の平均正答率は府平均を4.2ポイント上回った。

領域別では、大阪府と比較して「地理的分野」「歴史的分野」ともに上回った。

＜数学＞

全体の平均正答率は府平均を5.5ポイント上回った。

領域別では、大阪府と比較して「数と式」、「関数」、「データの活用」、「図形」すべてで上回った。

＜理科＞

全体の平均正答率は府平均を0.9ポイント上回った。

領域別では、大阪府と比較して「粒子」の分野で上回ったが、「エネルギー」「地球」の分野では下回った。

＜英語＞

全体の平均正答率は府平均を4.6ポイント上回った。

領域別では、大阪府と比較して「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」すべてで上回った。

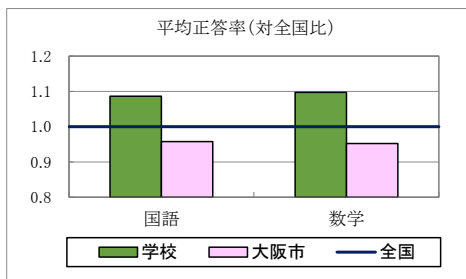
【今後に向けて】

令和7年度 高倉中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

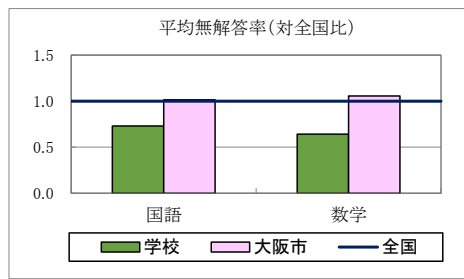
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	59	53
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

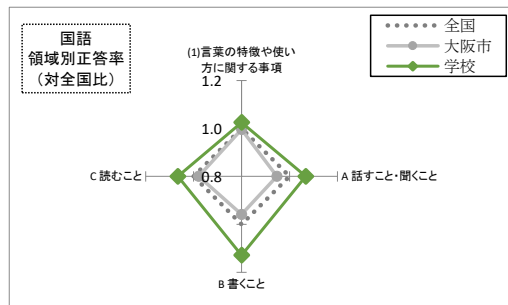
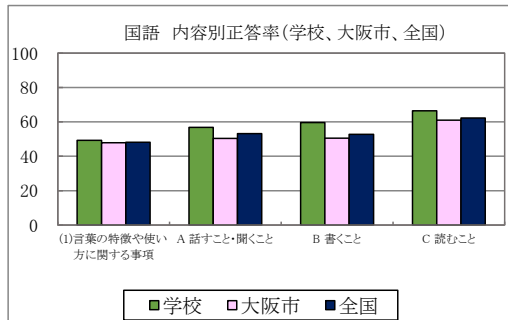


	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	4.9	6.8
大阪市	6.8	11.2
全国	6.7	10.6



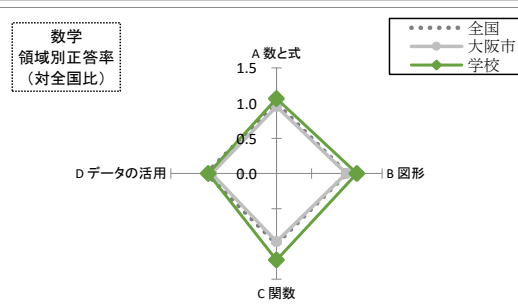
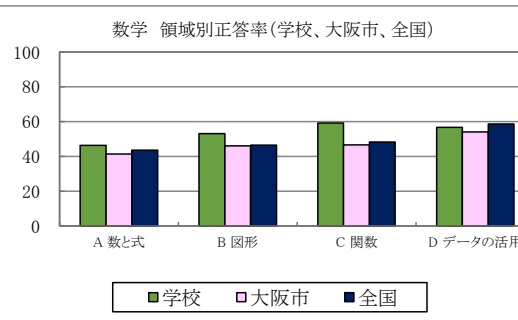
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	49.3	47.9	48.1
(2)情報の扱い方に 関する事項	0			
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	56.8	50.4	53.2
B 書くこと	5	59.6	50.6	52.8
C 読むこと	3	66.4	61.0	62.3



【 数 学 】

学習指導要領の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	46.3	41.4	43.5
B 図形	4	53.1	46.1	46.5
C 関数	3	59.2	46.6	48.2
D データの活用	3	56.7	54.0	58.6

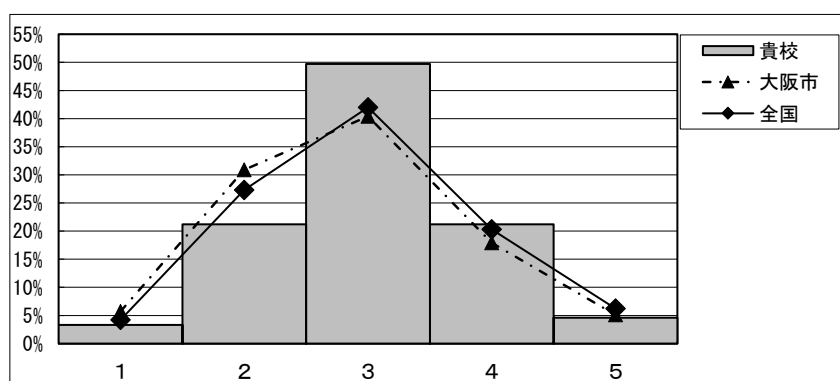
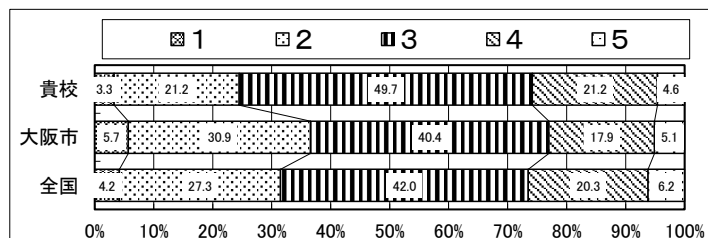


令和7年度 高倉中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	508
大阪市	489
全国	503



令和7年度 高倉中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

生徒質問より

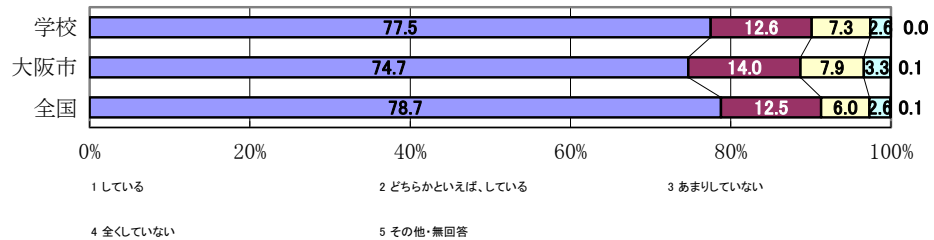
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

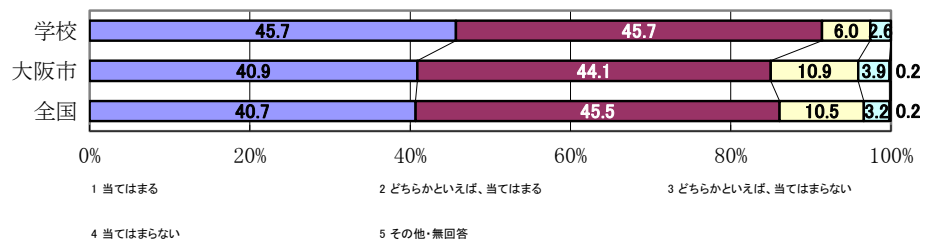
1

朝食を毎日食べていますか



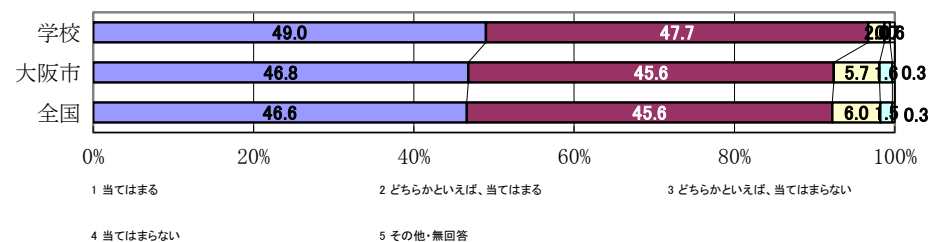
5

自分には、よいところがあると思いますか



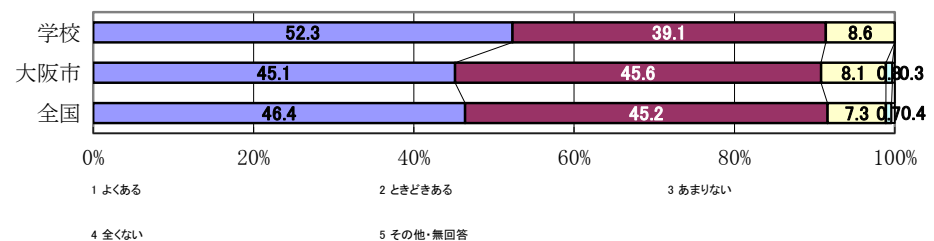
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



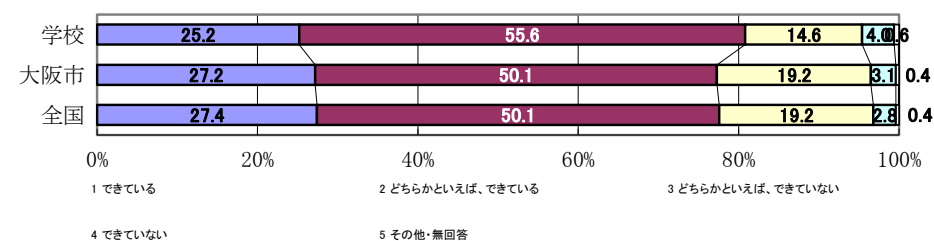
15

普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



16

分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか



令和7年度 高倉中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

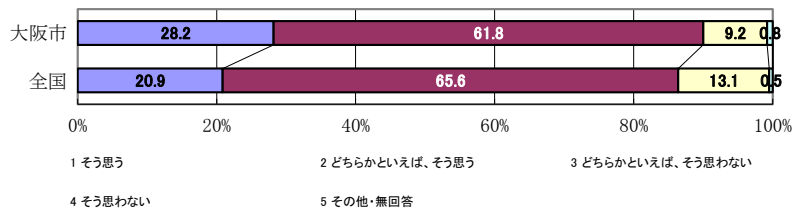
質問番号

質問事項

7

調査対象学年の生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか

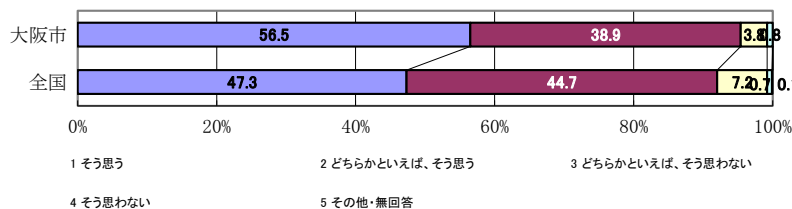
学校 「そう思う」を選択



8

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

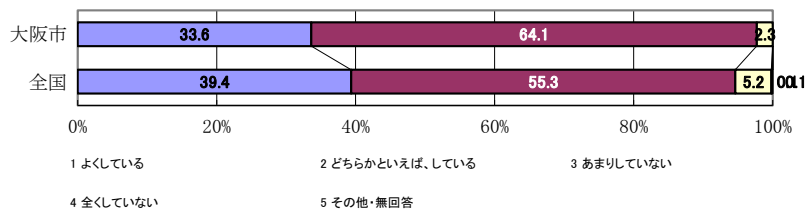
学校 「そう思う」を選択



17

言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

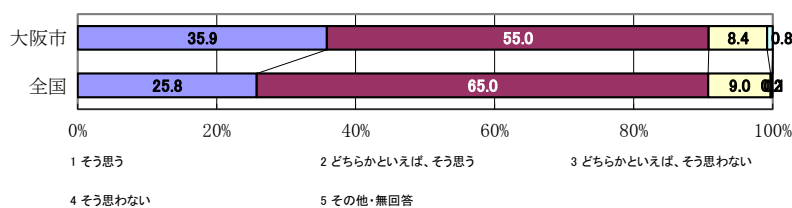
学校 「よくしている」を選択



27

調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていますか

学校 「そう思う」を選択



55

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択

